



地域おこし協力隊が行く

Vol.15

今月の担当:内田 一誠隊員、行方 和之隊員

インスタグラム
更新中です!



内田隊員

地域スポーツクラブ活動アドバイザーによる「部活動の地域展開」相談会を開催

8月24日、総合体育館にて「地域スポーツクラブ活動アドバイザーによる地域展開に関する相談会」が開催されました。

「部活動の地域展開」とは、中学校において、これまで教員が中心となって担ってきた部活動の運営を、地域のスポーツクラブや文化団体、外部指導者などと連携しながら、地域全体で子どもたちの活動を支えていく取り組みです。現在、全国の自治体でその取り組みが進められています。

相談会では、地域スポーツクラブ活動アドバイザーの馬場雅美氏を講師に迎え、地域スポーツクラブ活動の事務局運営方法や国の補助制度の活用、複数の市町村が連携して取組む広域連携の事例などについて、説明が行われました。また、町において今後どのように地域展開を進めていくべきかについて、相談会形式で意見交換を行いました。

質疑応答では、藤岡教育長をはじめ、オブザーバーとして参加した苫前町、初山別村の関係者からも活発な質問や意見が出され、今後の地域展開について考える大変有意義な機会となりました。

私自身も地域展開に関わる中で、子どもたちがスポーツや文化活動を通じて地域とつながり、成長できる環境をつくるのが大切だと感じています。地域の皆さんと一緒に、羽幌町ならではの活動の形を考えていきたいと思います。



行方隊員

広がる、つながる、新しいまちの拠点へ!



来春にオープン予定のゲストハウスの準備の一環として、宿の新しい可能性や活用方法について考えるワークショップを7月に開催しました。当日は、北海道教育大学岩見沢校の学生や先生方をはじめ、札幌で地域活性化に取り組むまちづくり企業、羽幌高校の生徒、地域の皆さんに参加いただき、世代や立場を越えてさまざまな意見をいただきました。

ワークショップでは、「アート・文化・デザイン」の視点や、若者ならではの柔軟な発想を生かし、「こんな場所があったらうれしい」「こんな使い方をしてみたい」といった声が寄せられました。具体的には、「泊まりに行ったら地域のひとと気軽に話

せるような空間」や「オープンキッチンを活用した料理ワークショップ」といった提案から、羽幌の自然や文化などの地域資源を生かした宿の楽しみ方、空間づくりにまで話が広がりました。

「旅と暮らしの、新しいゆくえ。」をテーマに、このゲストハウスは単に泊まるだけではなく、旅人と地域の人が出会い、交流し、新しい学びやつながりが生まれる拠点を目指しています。

今回いただいたアイデアをこれからの宿づくりに生かしながら、オープンに向けて準備を進めていきます。これからどんな出会いや活動が生まれるのか、ぜひ楽しみにしてください。